

世界経済概況（日米中欧）

「相互関税」が中国の対米貿易フローに与える影響

2025年 4月 8日

日本経済（2025年春闘／人手不足と賃金）	2
主任研究員 伊勢 友理	
米国経済（貿易・サービス収支／企業景況感（製造業））	2
主任研究員 清水 拓也	
中国経済（高率の相互関税／貿易フローへの影響）	3
上席主任研究員 李 雪連	
欧州経済（ユーロ圏：企業景況感／消費者物価指数）	3
研究主幹 榎本 裕洋	

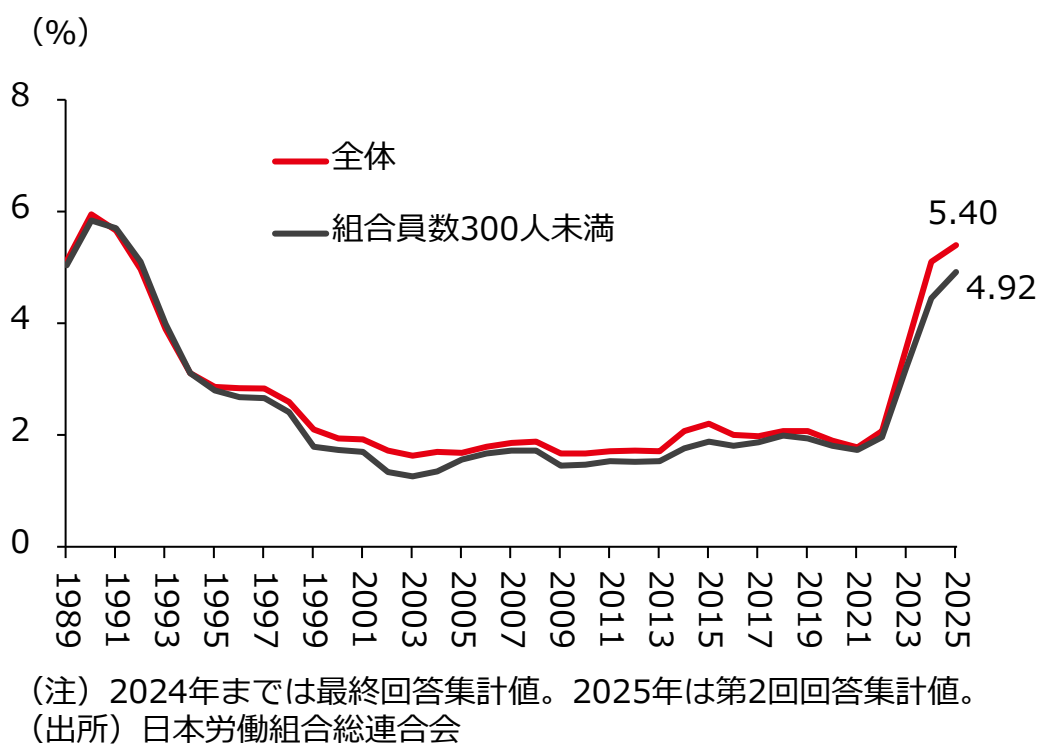
日本経済

主任研究員 伊勢 友理

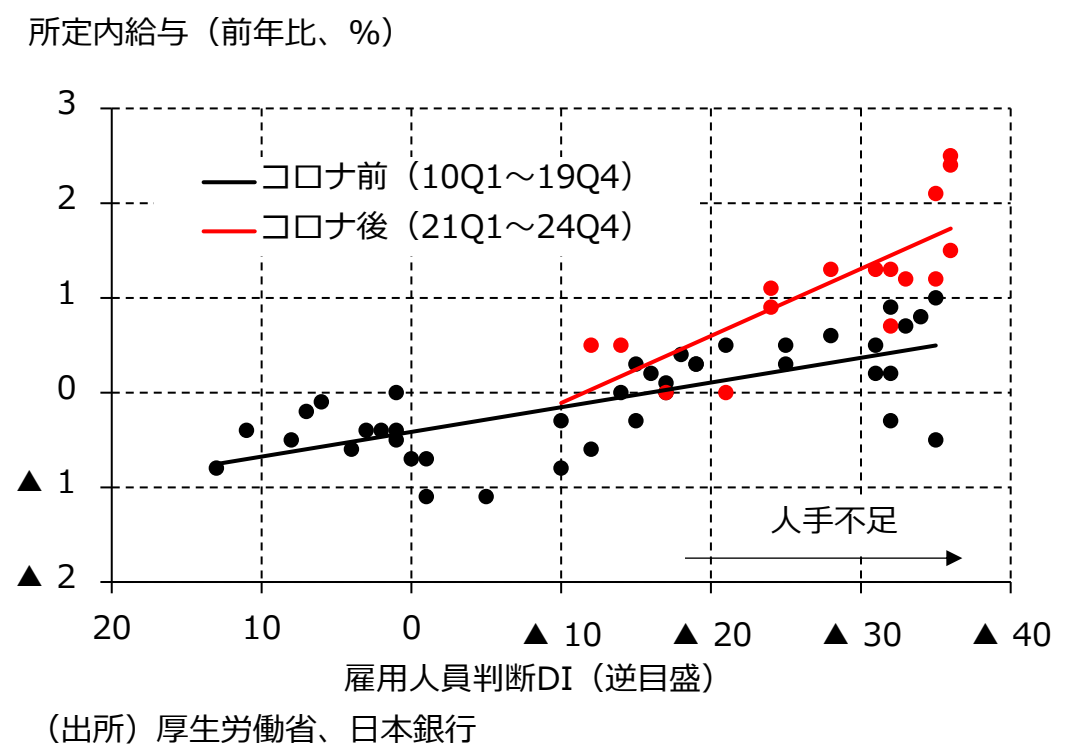
2025年春闘：日本労働組合総連合会（連合）が3月21日に公表した2025年春闘の第2回回答集計によると、定期昇給相当込みの賃上げ率は全体で5.40%（前年同時期比+0.15%ポイント）、組合員数300人未満の中小企業で4.92%（同+0.42%ポイント）と前年を上回る回答となり、特に中小企業の伸び率の拡大が目立つ形に。

人手不足と賃金：高い賃上げ率の背景には、物価高に加え、人手不足が挙げられる。日銀短観（3月調査）によると、雇用人員判断DIは全規模全産業で▲37（前回調査比▲1ポイント）と、不足感が一段強まった形。先行きは▲39とひっ迫が続く見込みとなっている。労働需給のひっ迫度合いと名目賃金の関係をコロナ前後で比較すると、コロナ以降に傾きが急になっており、人手不足度合いに対する賃金上昇率の感応度が高まっている。女性、高齢者の労働参加が進み、追加の労働供給余地がなくなる、いわゆる「ルイス転換点」が近づいたとの見方もあり、賃金上昇は定着する可能性も。

▽春闘の平均賃上げ率



▽労働需給のひっ迫度合いと賃金上昇率



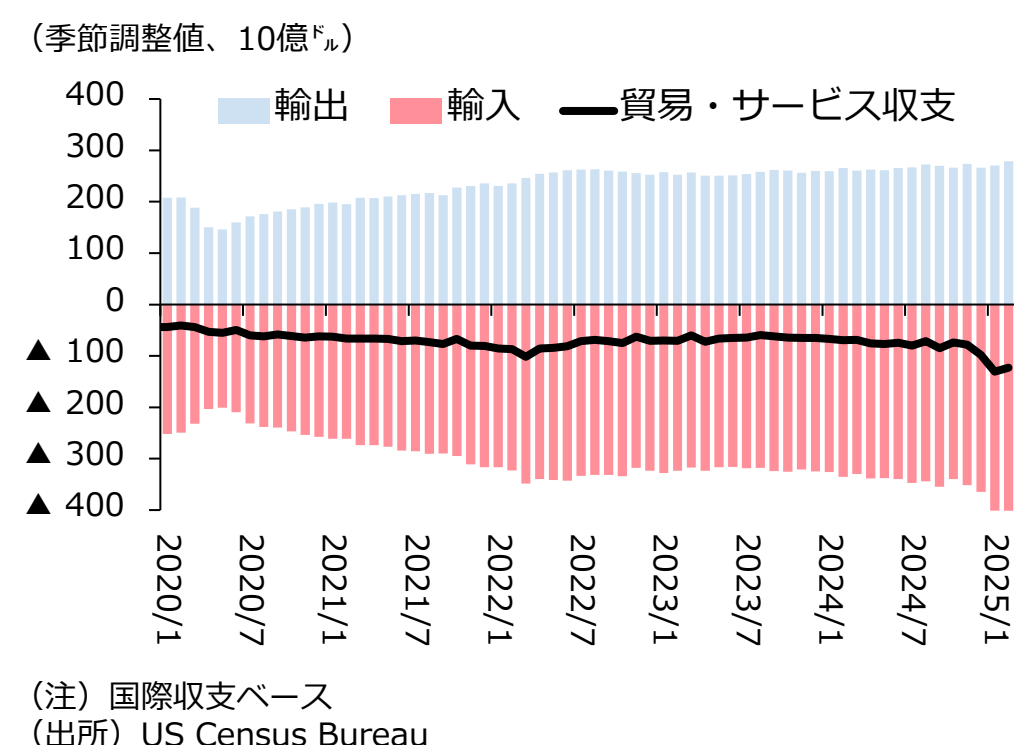
米国経済

主任研究員 清水 拓也

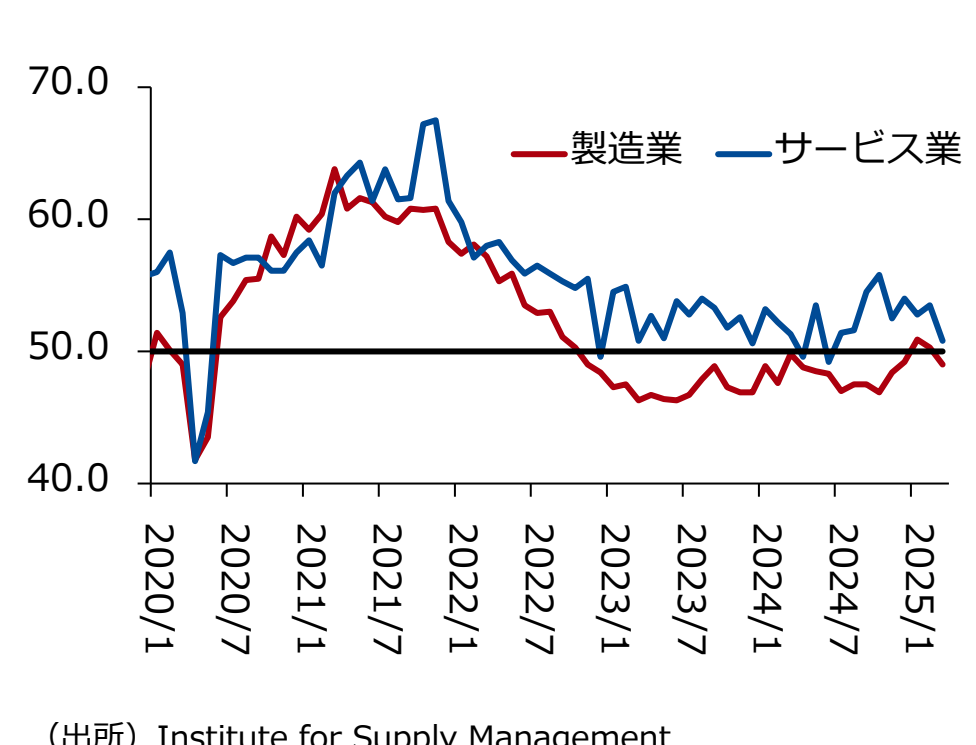
貿易・サービス収支：2月の輸出は2,785億ドルと過去最大を記録、輸入は4,101億ドルと米関税政策変更を控えた駆け込みを背景に前月に続き高水準で推移した。結果、2月の貿易・サービス収支（国際収支ベース）は▲1,227億ドルと1月に続き昨年末を大幅に上回る赤字が継続した。輸入品目のうち、とりわけ産業向けの金属加工品が極めて高水準で推移。前倒しでの輸入拡大は3月にも継続したと見られる。輸入拡大は、GDPに加味されない非貨幣用金の寄与分や在庫積み増しにより一部相殺される部分を差し引いても、1-3月期GDPの押し下げに作用した公算が大きい。

企業景況感（製造業）：3月のISM製造業指数は49.0（2月50.3）と活動拡大／縮小の目安とされる50を割り込んだ。5つの構成要素のうち、在庫が50を上回った一方、新規受注、生産、雇用は50割れ。関税コスト回避のための原材料納入の前倒しに伴い一時的に在庫が拡大するも、先行きについては悲観的な見方が強く、企業は新規雇用や設備投資を抑制。加えて、鉄鋼・アルミ関税や、国内への仕入れ先の入れ替えに伴うコスト増が、既に仕入れ価格を押し上げていることが報告された。

▽貿易・サービス収支



▽ISM企業景況感指数



中国経済

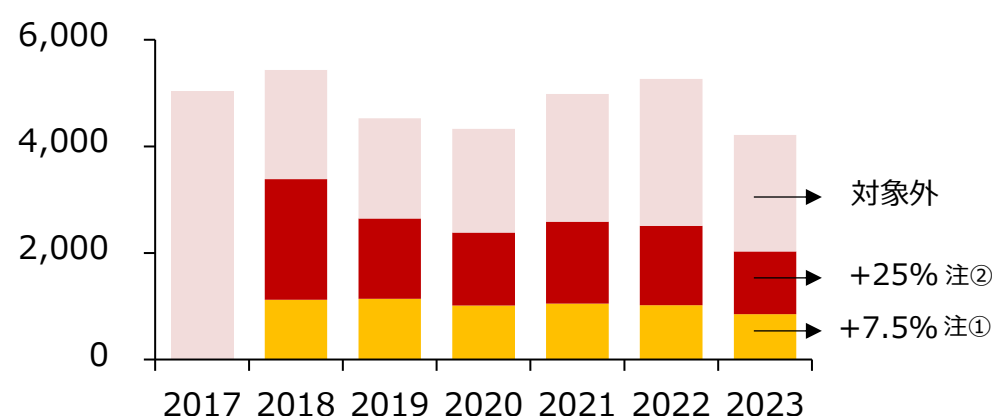
上席主任研究員 李 雪連

高率の相互関税：国際緊急経済権限法（IEEPA）に基づく米国の相互関税では、中国からの輸入品に対し34%の関税率が追加された。相互関税の税率は米国の対中貿易赤字や輸入額に応じた設定になっており、最大の対米貿易黒字国である中国への追加は大きめとなった。不法移民・違法麻薬をめぐり先行して追加されていた20%と合わせ、トランプ2期目の対中追加関税は累計で54%に。

貿易フローに影響：相互関税の税率は、中国の対米輸出の経由地となっているとされるベトナムやカンボジアでも50%近くまで引き上げられる予定で、中国からの迂回的な輸出のメリットは全体としては減じられる見込み。他方、トランプ1期目に通商法301条に基づき設定された制裁関税については、中国からの輸入品の約半分（金額ベース）に7.5%または25%の税率が適用されている。すでにこの対象となっている品目にも今次の追加関税は上乘せされるため、対象品目では引き続き迂回輸出のメリットが残る可能性もある。その場合、米国以外への輸出攻勢は一段と強まることも。

▽米国の主な対中制裁関税（通商法301条）

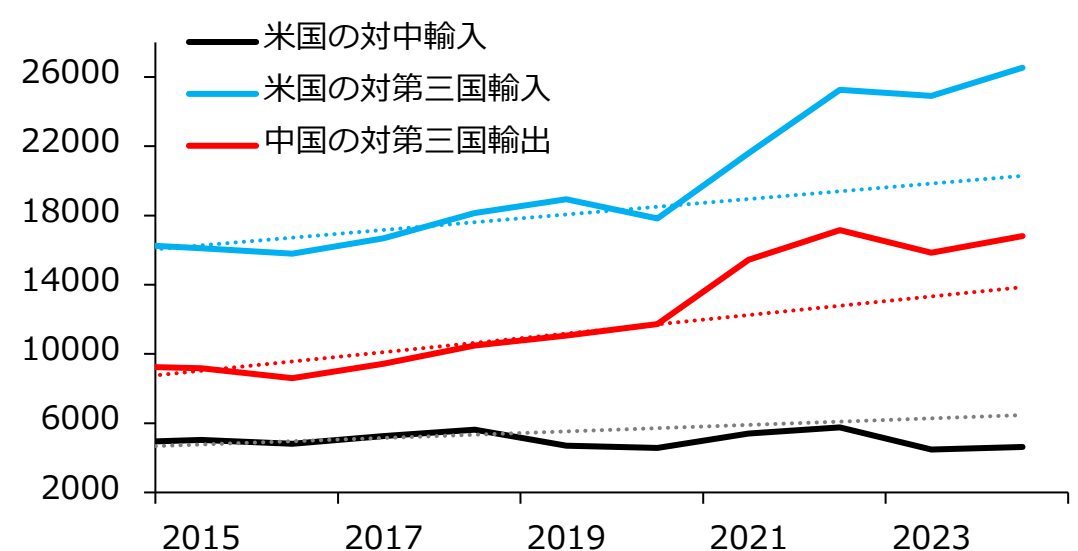
（億ドル、米国の対中輸入額）



（注）①リスト4A（衣類や食料品）：19年から発動、最初は+15%、20年から+7.5%に引き下げ ②リスト1～3（自動車や化学品、IT製品）：18年から発動、1と2は+25%、3は最初が+10%、19年から+25%に引き上げ ③図式で省略、バイデン政権の決定事項：24～26年、EVや医療用品、バッテリー関連等（23年輸入額：180億ドル）の制裁関税を+25%～+100%に引き上げ
（出所）Tax Foundation等より丸紅経済研究所作成

▽中国の対米貿易フローの変化

（億ドル）



（注）第三国：2024年米国輸入額の上位20カ国・地域（中国を除く）
点線：2019年末までのトレンド線
（出所）ITCより丸紅経済研究所作成

欧州経済（ユーロ圏）

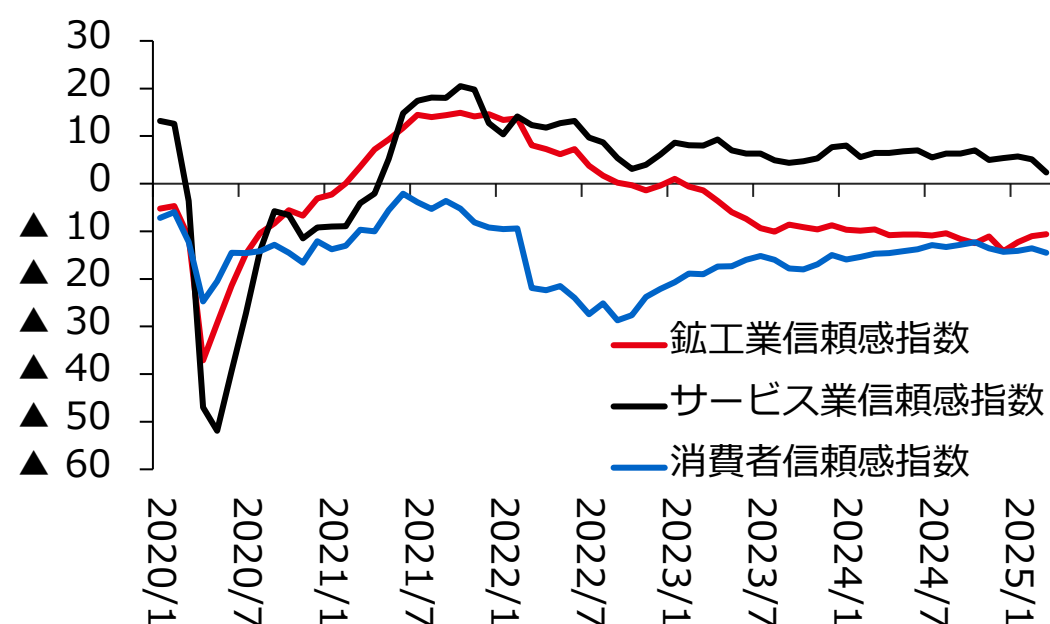
研究主幹 榎本 裕洋

ユーロ圏企業景況感はまだら模様：3/28発表の3月ユーロ圏鉱工業信頼感指数は前月比+0.4（2月▲11.0 ⇒ 3月▲10.6）と3カ月連続の改善。一方、ユーロ圏サービス業信頼感指数は前月比▲2.7（2月+5.1 ⇒ 3月+2.4）と2カ月連続の低下。企業景況感はまだら模様の動きを示しており、明確な改善はみえない。

景気・物価・金融政策は予断許さず：4/1発表の3月のユーロ圏消費者物価指数は前年比+2.2%（2月同+2.3%）と2カ月連続の伸び率縮小。物価の基調を示す燃料・食料を除く総合（コア指数）も同+2.4%（2月同+2.6%）と伸び率縮小。サービス価格の伸び率縮小の影響が大きい。欧州中央銀行（ECB）は3月理事会で25年の経済成長率を下方修正、インフレ率を上方修正する一方、利下げ停止の接近を示唆。4/2にトランプ大統領が発表した関税（欧州連合に対しては相互関税20%、自動車関税25%）の影響が今後顕在化することで、景気・物価・金融政策の見通しはより複雑になる。

▽ユーロ圏：各種信頼感指数

（指数）



（出所）欧州委員会

▽ユーロ圏：消費者物価指数（前年比）

（前年比、%）

	24年10月	11月	12月	25年1月	2月	3月
総合	2.0	2.2	2.4	2.5	2.3	2.2
総合(燃料・食料除く)	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.4
食料	2.9	2.7	2.6	2.3	2.7	2.9
燃料	▲4.6	▲2.0	0.1	1.9	0.2	▲0.7
非燃料工業製品	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6
サービス	4.0	3.9	4.0	3.9	3.7	3.4

（出所）EUROSTAT

(執筆者プロフィール)

伊勢 友理 (Yuri Ise)

ISE-Y@marubeni.com

主任研究員

研究分野：マクロ経済、日本、原油・ガス

日系金融機関を経て、2021年より丸紅経済研究所。2024～2025年に日本経済研究センターに出向（マクロ経済モデル、時系列データ・パネルデータ分析）。現在は主に日本の政治・経済、原油・ガスを担当。東京大学経済学部卒業。

清水 拓也 (Takuya Shimizu)

SHIMIZU-T@marubeni.com

主任研究員

研究分野：マクロ経済（米国）、金融政策

2021年に丸紅入社、経済研究所にて主に米国の政治経済を担当。景気動向、金融政策、連邦議会動向などについての分析・発信に従事。早稲田大学経済学研究科修士課程修了（経済学修士）。専門はマクロ経済。

李 雪連 (Xuelian Li)

xuelian-li@marubeni.com

上席主任研究員

研究分野：中国・東アジア、商品・エネルギー、産業

IT企業勤務を経て2005年から丸紅経済研究所で主に中国・東アジア、商品・エネルギー、産業をリサーチ。講演や取材、寄稿なども行う。2013～15年米国・戦略国際問題研究所（CSIS）に出向し米中関係を研究。早稲田大学アジア太平洋研究科修了（国際関係学修士）。（社）日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト、中国経済経営学会会員。

榎本 裕洋 (Yasuhiro Enomoto)

Enomoto-Y@marubeni.com

研究主幹

研究分野：マクロ経済全般、CIS（特にロシア）地域事情、総合商社論（歴史）

木材建材第二部、業務部を経て、2001年から丸紅経済研究所（2015～17年 経済同友会出向）。先進国から新興国まで地域横断的にマクロ経済を担当。ロシアをはじめとする旧ソ連地域が注力分野。また「総合商社の研究—その源流、成立、展開（田中 隆之, 2012 東洋経済新報社）」出版にあたって発足した研究会に参加するなど総合商社の歴史についても強い関心を有する。大阪外国語大ロシア語学科卒。

株式会社丸紅経済研究所

〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目4番2号

<https://www.marubeni.com/jp/research/>

(免責事項)

- 本資料は公開情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、相当性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰属するもので、当社は何らの責任を負うものではありません。
- 本資料に掲載している内容は予告なしに変更することがあります。